

「求む新鮮力―道内大学アメフト部の新勧作戦」②帯広畜産大

男らしい体にならないかい

帯広畜産大学のトレーニングルームで4月13日、アメリカンフットボール部が企画した筋トレ会が開かれた。屈強な体が売り物のアメフト部のノウハウを生かした新入部員勧誘作戦の一つで、バーベルを使った男らしい体づくりのポイントを紹介しながらアメフト部をPRするのが狙い。集まった5人の新入生男子の前で、力自慢の部員たちがベンチプレスやスクワットの模範を披露し、新入生たちへ実技指導も。顔を真っ赤にしてバーベルを持ち上げた1年生からは「ちゃんとした筋トレは初めて」「おもしろかった」と喜びの声が上がったという。同じ日に別会場の合宿棟では、アメフト部マネージャーたちが呼びかけた女子会も開催。こちらは1年生女子13人が集まり、一緒にクレープ作りを楽しんだ。

今年で創部35年目を迎える帯広畜産大アメフト部。道学生選手権で優勝こそないものの、トーナメントで争った昨年も1部の準決勝にコマを進めた実力校だ。先輩5人が抜けた今年のチームは選手が4年生7人、3年生2人、2年生4人の計13人、スタッフが10人。新入部員は選手10人以上、スタッフ5人以上を目標に、入学式前の3月22日から勧誘作戦をスタートした。名刺も自作した新勧チーフの武藤雅嗣君（3年）は「練習でフルのスクリメージを組める人数が欲しかった」と目標を説明する。

最初に行ったのが新入生向けのオンライン座談会。「合格祝賀会」と題して部員たちが帯広での新生活や講義の受け方、バイト情報などを20人の新入生にアドバイスした。入学式翌日の4月5日にはオンラインで履修相談会も開いた。部員たちが獣医、家畜、食品など専攻別のユニットに分かれて、「お勧めの授業」などを伝授。こちらも30人の新入生が参加した。9日からは新入生と直接交流するゲーム大会やタッチフットボール体験会もスタート。武藤チーフは「去年まではタッチフットだけだったが、今年は新入生が参加しやすい催しを増やした」と新戦略を説明する。13日の筋トレ会と女子会もその一環。新入生たちをマイカーに乗せて十勝の観光スポットを訪ねるミニドライブも好評だった。

あの手この手の作戦が実を結んだのが23日のタッチフット大会。4回のタッチフット体験会の仕上げとして開き、いよいよとばかりに参加者に入部を猛チャージ。それまでマネージャー1人の入部にとどまっていたのが、一気に選手5人、マネージャー4人の勧誘に成功した。武藤チーフは「専門性の高い大学なので目標をしっかりと持って入学してくる。その新入生を呼び込むにはアメフト部のハードルを低くして、楽しい雰囲気アピールした」という。アイスホッケー部やカーリング部との奪い合いもしのいでの勧誘作戦。「検討中があと2、3人いる。目標まであと一歩」と武藤チーフに自信ものぞいた。



帯広畜産大アメフト部員の指導を受けてバーベルに挑む新入生